



ガイドライン目次(案)

参考資料

編	章	項目	概要
はじめに			⇒ 自転車利用を進める背景、取り組み経緯、ガイドラインを策定する目的を示す。 ⇒ ガイドラインの位置づけ(地域が実施する際の参考資料)、今後の改訂方針について示す。 ⇒ ガイドラインの構成と概要、使い方を示す。
序論	I. 自転車を取りまく環境	1. 自転車利用推進に関する施策の背景	⇒ エネルギー問題、環境負荷(CO2)、自転車利用の多様化等の施策の背景を示す。
		2. 自動車から自転車への転換可能性	⇒ 自転車の利用実態を基に短距離移動の乗用車から自転車への転換の可能性を示す。 ⇒ 高齢化に伴い自転車利用の増加の可能性を示す。
		3. 自転車利用環境の現状と課題	⇒ 自転車関連交通事故の状況と課題を示す。 ⇒ 自転車走行空間整備の状況と課題を示し、海外の自転車走行空間の状況を示す。
	II. 自転車が走行する道路空間の形態		⇒ 自転車が走行する代表的な道路空間の形態について、法令に基づき整理する。

今回議論



資料3

本論	I. 自転車走行空間整備に係わる計画		⇒ 自転車走行空間のネットワーク整備計画を策定する考え方、方法(概況把握目標設定、エリア設定、路線抽出、整備形態の選定、合意形成等)について提示する。
	II. 自転車走行空間の設計		⇒ 自転車走行空間整備について、自転車道、自転車専用通行帯等の整備形態別に単路部、交差点部における設計のポイントを提示する。
	III. 自転車利用の総合的な取り組み		⇒ 自転車の通行方法や適切な利用を促すルールの周知、走行空間の効果的な利用を図る駐車車両対策、自転車利用の促進を図るレンタサイクルなど、自転車利用の総合的な取り組みを紹介する。
参考資料	I. 自転車利用に関する制度及び施策の変遷		⇒ 自転車利用及び自転車利用環境に関する昭和30年代から現在までの制度や施策の変遷について整理する。
	II. 自転車関連法規		⇒ 交差点部の通行方法など自転車に関する道路交通法等の関係法規を整理する。